

■主な半島資源

【体験・交流資源】

名称	写真	所在地	特徴	備考
ごしよがわらたちねぶた 五所川原立佞武多		五所川原市	「五所川原立佞武多」とは、毎年8月4日から8日までの5日間、五所川原市で開催されており、約140万人の入込客数を誇る津軽半島地域最大の夏祭りです。高さ約23m、重さ約19トンの大型立佞武多などが「ヤッテマレ！ ヤッテマレ！」の掛け声のもと、五所川原中心市街地一円を練り歩き、その圧倒的迫力で沿道の観客を魅了します。運行には、「立佞武多の館」に展示している3台の大型立佞武多に加えて、町内・学校・愛好会などで製作される中型、小型のねぶたと合わせ、15台前後が出陣します。 現在では、青森ねぶた、弘前ねぶた、八戸三社大祭と並んで青森県四大祭りと呼ばれるまでに発展しています。 また、祭り前日の8月3日には、約5,000発もの花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩る恒例の花火大会が毎年開催されています。(注：天候不良の場合は、8月9日に順延)	<ul style="list-style-type: none"> ■交通アクセス JR五所川原駅から徒歩で約5分 ■関連ウェブサイト 五所川原市ホームページ http://www.city.goshogawara.lg.jp/ ◎お問い合わせ先 五所川原市役所経済部観光物産課 青森県五所川原市宇岩木町12 TEL: 0173-35-2111、FAX: 0173-35-3617
津軽三味線		五所川原市	「津軽三味線発祥の地」五所川原市金木地区にある津軽三味線会館では、津軽三味線の歴史、民謡、郷土芸能等を紹介する展示室をはじめ、舞台演奏ができる多目的ホール、舞台、野外ステージがあり、津軽三味線の生演奏を堪能することができます。また、多目的ホールでは毎日、津軽三味線のライブステージと津軽三味線物語、観光ビデオシアターが上映されています。 毎年ゴールデンウィーク期間中の5月4日、5日には、「津軽三味線全日本金木大会」が開催されており、全国から多数出場者が訪れています。さらに毎年9月中旬には、津軽三味線全日本金木大会エキシビジョンとして「仁太坊祭り」が開催されており、津軽三味線奏者の音色で多数の来場者を大いに魅了しています。(写真左：津軽三味線会館、写真右：仁太坊祭り)	<ul style="list-style-type: none"> ■交通アクセス 津軽鉄道金木駅から徒歩で約10分 ■関連ウェブサイト NPO法人かなぎ元気倶楽部ホームページ http://www.kanagi-gc.net/syami/index.html ◎お問い合わせ先 津軽三味線会館 青森県五所川原市金木町朝日山189-3 TEL: 0173-54-1616、FAX: 0173-54-1023
地吹雪体験		五所川原市 ほか	冬期に寒さが厳しくなると、気温が氷点下になり、乾いた状態の積雪が強風に吹きとばされ嵐のように舞い上がります。 五所川原市金木地区では毎年1月下旬～2月下旬にかけて奥津軽の冬の厳しい気候を、貴重な体験として楽しむ「地吹雪体験ツアー」も開催されており、気ままに地吹雪体験や地吹雪トレッキングなど、様々な体験プログラムを楽しむことができます。	<ul style="list-style-type: none"> ■交通アクセス 津軽鉄道金木駅から車で約10分 ■関連ウェブサイト 五所川原市ホームページ http://www.city.goshogawara.lg.jp/ ◎お問い合わせ先 津軽地吹雪会 青森県五所川原市金木町朝日山272-5 TEL・FAX: 0173-52-2012
津軽鉄道ストーブ列車		五所川原市 ～中泊町	毎年12月～3月の間、津軽五所川原駅から津軽中里駅の区間を1日3往復ストーブ列車が運行します。昭和5年から続くこの列車は、車内にある石炭のダルマストーブがノスタルジックな雰囲気漂わせ、毎年全国から多数のファンが訪れています。 また、五所川原夏祭り期間中には限定イベント「真夏のストーブ列車運行」を実施しています。	<ul style="list-style-type: none"> ■関連ウェブサイト 津軽鉄道株式会社ホームページ http://tsutetsu.com/ 津軽半島観光アテンドブログ http://t-ate.com/ ◎お問い合わせ先 津軽鉄道株式会社 青森県五所川原市宇大町39 TEL: 0173-34-2148、FAX: 0173-34-2149

■主な半島資源

【体験・交流資源】

名称	写真	所在地	特徴	備考
チェスボローカップ (水泳駅伝大会)		つがる市	明治22年、七里長浜沖合で暴風雨のため、米国メイン州バス市のチェスボロー号が座礁、当時の車力村民等の救助活動により、4人の乗組員が助けられました。この海難事故はその後、人間愛のドラマとして感動と共に、現代に伝わり、旧車力村とバス市(アメリカメイン州)の姉妹都市提携となって実を結び、平成2年(1990年)、車力地区とバス市の直線距離10,200kmを参加者全員の合計距離で目指す水泳駅伝大会「チェスボローカップ水泳駅伝」が始まり、毎年多くの参加者を集めています。 【開催時期 毎年7月下旬～8月上旬】	<ul style="list-style-type: none"> ■交通アクセス JR木造駅から車で約20分 ■関連ウェブサイト つがる市ホームページ http://www.city.tsugaru.aomori.jp/ ◎お問い合わせ先 つがる市役所経済部商工観光課 青森県つがる市木造若緑61-1 TEL:0173-42-2111、FAX:0173-42-3069
つがる地球村		つがる市	滞在型のリゾート施設「つがる地球村」は、サウナ付温泉や露天風呂付ログハウスなどを備えた「藤山邸」をはじめ、ステージルーフが設けられた「野外円形劇場」などがあります。「スポーツパーク」には子供向け遊戯施設「チャイルドウッド」や野外相撲場、テニスコート、バスケットコートなどがあり家族みんなで楽しめます。オートキャンプ場には炊事場やシャワー等が完備され111台の車が収容可能です。	<ul style="list-style-type: none"> ■交通アクセス JR陸奥森田駅から車で約10分 ■関連ウェブサイト つがる地球村ホームページ http://www.chikyuumura.co.jp ◎お問い合わせ先 つがる地球村株式会社 青森県つがる市森田町床舞藤山244 TEL:0173-26-2855、FAX:0173-26-3855
米国メイン州バス市 交流事業		つがる市	つがる市では、国際協力に対する市民の理解を深め、これからの国際化社会に対応できる国際感覚豊かな人材を育成するため、つがる市姉妹都市国際交流事業を実施しています。 明治22年10月30日米国帆走船「チェスボロー号」がつがる市車力沖合で座礁沈没し、当時の車力村民等の救助活動により23名中4名が奇跡的に救助されたのをきっかけとして、平成2年以来、訪問団が互いに訪問し合い、ホームステイや文化交流等を通して相互理解及び人的・文化的交流を深めています。	<ul style="list-style-type: none"> ■関連ウェブサイト つがる市ホームページ http://www.city.tsugaru.aomori.jp/ ◎お問い合わせ先 つがる市役所総務部企画調整課 青森県つがる市木造若緑61-1 TEL:0173-42-2111、FAX:0173-42-3069
うまいち 馬市まつり		つがる市	東北三大馬市に数えられていた「馬っこ市」が、昭和50年から巨大馬ねぶたを曳いて町内を練り歩く「馬市まつり」へと変わりました。そのねぶたは「火まつり会場」に集められ、白装束をまとった女性が松明で焼き払い、馬の霊を昇天させます。この儀式は「新田火まつり」と呼ばれ、平成11年度には「美しい日本のむら景観コンテスト」で農林水産大臣賞を受賞しております。馬市まつりではのど自慢大会、馬ねぶたパレード、よさこい馬市などたくさんのイベントが8月末に開催されます。	<ul style="list-style-type: none"> ■関連ウェブサイト つがる市ホームページ http://www.city.tsugaru.aomori.jp/ ◎お問い合わせ先 つがる市役所経済部商工観光課 青森県つがる市木造若緑61-1 TEL:0173-42-2111、FAX:0173-42-3069

■主な半島資源

【体験・交流資源】

名称	写真	所在地	特徴	備考
ふるさと総合センター		蓬田村	保健・福祉・公民館の総合的な機能を持つふるさと総合センターは平成10年に完成しました。各種検診を行う多目的ルームや250名収容のホール、調理室、図書室、会議室、和室があり、講演会や各種大会、冠婚葬祭などに利用できます。	<ul style="list-style-type: none"> ■交通アクセス JR津軽線郷沢駅から徒歩で約10分 ■関連ウェブサイト 蓬田村ホームページ http://www.vill.yomogita.lg.jp/ ◎お問い合わせ先 蓬田村ふるさと総合センター 青森県東津軽郡蓬田村大字郷沢字浜田136-76 TEL: 0174-31-3100
たままつ海の情報館		蓬田村	海に関するさまざまなことを学習できる施設です。海難事故があった場合の拠点としての機能を備えており、2階展望台からは下北半島、夏泊半島など陸奥湾の眺望を楽しむことができます。	<ul style="list-style-type: none"> ■交通アクセス JR津軽線郷沢駅から徒歩で約15分 ■関連ウェブサイト 蓬田村ホームページ http://www.vill.yomogita.lg.jp/ ◎お問い合わせ先 たままつ海の情報館 蓬田村大字郷沢字浜田地内 TEL: 0174-27-3300
青函トンネル記念館		外ヶ浜町	昭和63年に開業した世界最長の海底トンネル。構想から完成までを音と映像、それに資料パネル、立体モデルなどでわかりやすく展示公開しており、青函トンネルの全てをダイナミックに体験することができます。世界へ誇る大事業の足跡や完成に導いた人々の最高の技術と情熱を後世に伝えるメモリアル施設が青函トンネル記念館です。 お奨めは海底下にある体験坑道で、ここへ案内してくれるケーブルカーは日本一短い私鉄「青函トンネル電飛斜坑線」。わずか8分で海面下140mへ到着します。海面下240mに総延長53.85Kmのトンネルがどのようにして造られたのか、実際に作業坑として使われた一角を展示ゾーンにしており、所要時間45分で回れるという見学コースになっています。 また、海の幸が味わえる海峡味処「紫陽花」、売店コーナーでは特産品やオリジナルグッズを販売しております。	<ul style="list-style-type: none"> ■交通アクセス JR津軽線三厩駅前から車で約30分 ■関連ウェブサイト 青函トンネル記念館ホームページ http://seikan-tunnel-museum.com/ ◎お問い合わせ先 財団法人 青函トンネル記念館 青森県東津軽郡外ヶ浜町字三厩龍浜99 TEL: 0174-38-2301、FAX: 0174-38-2303
おだいば オートビレッジ		外ヶ浜町	暖かい木のぬくもりと優しい木の香り・・・太陽の光も星のきらめきも窓いっぱいにあふれるコテージなのにそこはもう森の中・・・。 ミニ別荘的なコテージのほか、オートキャンプ場も20区画あります。付近には、江戸時代に松前藩(北海道)の大名が行列をなして江戸へ向かった松前街道の松並木や、外国船の侵入を守った平館台場跡(県指定文化財)などがあり、歴史的にも意義深い平館灯台周辺は、現在も海水浴場や道の駅などがあり、当町の観光名所として行楽客を楽しませています。	<ul style="list-style-type: none"> ■交通アクセス 青森市から車で約70分 ■関連ウェブサイト 外ヶ浜町ホームページ http://www.town.sotogahama.lg.jp/ ◎お問い合わせ先 おだいばオートビレッジ 青森県東津軽郡外ヶ浜町大字平館字田の沢67-1 TEL: 0174-31-2211、FAX 0174-31-2208

■主な半島資源

【体験・交流資源】

名称	写真	所在地	特徴	備考
そば打ち体験館 (中山間地域 活性化施設)		外ヶ浜町	外ヶ浜町がある青森県東青地区は、青森県内でも蕎麦の収穫量が1番多い地区です。当町で収穫された蕎麦を使った「そば打ち体験」をしてみませんか？地元町民らによるそば打ちグループ「そばの花」さんが懇切丁寧にお教えます。	<ul style="list-style-type: none"> ■交通アクセス 青森市から車で約70分 ■関連ウェブサイト 外ヶ浜町ホームページ http://www.town.sotogahama.lg.jp/ ◎お問い合わせ先 外ヶ浜町役場産業観光課 青森県東津軽郡外ヶ浜町字蟹田高銅屋44-2 TEL:0174-31-1228、FAX 0174-31-1229
はまなす公園		鱒ヶ沢町	海水浴場は、広い砂浜と遠浅の海。監視員もいるので、小さなお子さんでも安心して遊べます。泳いだ後は、芝生と木陰でのんびり。	<ul style="list-style-type: none"> ■交通アクセス JR鱒ヶ沢駅から徒歩で約5分 ■関連ウェブサイト 鱒ヶ沢町ホームページ http://www.town.ajigasawa.lg.jp/ ◎お問い合わせ先 鱒ヶ沢町役場観光商工課 青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字本町209-2 TEL:0173-72-2111、FAX:0173-72-2374
鱒ヶ沢キャンプ パーク		鱒ヶ沢町	岩木山麓に広がる長平高原(標高260m)に位置し、自然環境に恵まれたキャンプ場として全国でも有数の規模と充実した設備でキャンパーたちに利用されています。旅行村はなんと東京ドーム8個分の大きさ。大自然の醍醐味を味わいながら、キャンプをお楽しみいただけます。	<ul style="list-style-type: none"> ■交通アクセス JR鱒ヶ沢駅から車で約20分 ■関連ウェブサイト 鱒ヶ沢町ホームページ http://www.town.ajigasawa.lg.jp/ ◎お問い合わせ先 長平青少年旅行村 鱒ヶ沢キャンプパーク 青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字長平町字甲音羽山65 TEL:0173-72-1571、FAX:0173-72-1573
アオーネ白神十二湖		深浦町	都会では体験できない農業や磯釣り体験、白神山・十二湖の自然観察やトレッキング、白神岳登山のガイド等、各種メニューを取り揃えております。都会の学校の生徒さんを対象にした教育(体験学習)旅行も受け入れております。また、施設内の物産館「カワセミ」では、ビーズアクセサリ、雑貨の手作り体験もできます。	<ul style="list-style-type: none"> ■交通アクセス JR十二湖駅から車で約5分 ■関連ウェブサイト アオーネ白神十二湖ホームページ http://www.shirakami-juuniko.jp/ ◎お問い合わせ先 アオーネ白神十二湖 青森県西津軽郡深浦町大字松神字下浜松14 TEL:0173-77-3311、FAX:0173-77-2681


■主な半島資源

【体験・交流資源】

名称	写真	所在地	特徴	備考
ウェスパ(WeSpa) 椿山		深浦町	白神ガラス工房「HOO(フー)」では、風力発電の自然エネルギーを使ってガラスのアクセサリーやグラスづくりなどの創作体験にチャレンジできます。簡単なビーズアクセサリから本格的な吹きガラスまでプロが丁寧にアドバイスします。また、西洋アンティークガラスなどのギャラリーや工房オリジナル作品の販売もしております。	<ul style="list-style-type: none"> ■交通アクセス JRウェスパ椿山駅下車 ■関連ウェブサイト ウェスパ椿山ホームページ http://www.wespa.jp/index.html ◎お問い合わせ先 ウェスパ椿山 青森県西津軽郡深浦町大字舩作字鍋石226-1 TEL:0173-75-2811、FAX:0173-75-2812
りんご加工品 製作体験		板柳町	りんごからジュースを搾汁後、乾燥させて作ったアップルファイバー(りんご繊維)を生地に練り込んだ、おいしくて健康的な「お菓子作り」、釉薬にりんごの木の灰を使用し、素朴で温かみのある色合いが魅力の陶芸「ぼんりゅう焼き」、りんごの葉や枝をじっくり煮こんで自然の色を活かす「りんご草木染め」、りんごの木の皮を1本1本丁寧に編み上げた「林寿」で色紙やレザークラフトを製作する体験など、様々なメニューが用意されています。	<ul style="list-style-type: none"> ■交通アクセス JR板柳駅から徒歩で約15分 ■関連ウェブサイト 板柳町ホームページ http://www.town.itayanagi.aomori.jp/ ◎お問い合わせ先 板柳町ふるさとセンター 青森県北津軽郡板柳町大字福野田字本泉34-6 TEL:0172-72-1500、FAX:0172-73-5284
さくらんぼ狩り		鶴田町	鶴田産の甘いさくらんぼは、子どもから大人まで大人気。その場で食べるさくらんぼの味は格別です。 【収穫時期:毎年6月下旬～7月上旬】	<ul style="list-style-type: none"> ■関連ウェブサイト 鶴田町ホームページ http://www.town.tsuruta.aomori.jp/ ◎お問い合わせ先 鶴田町役場産業観光課 青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字早瀬200-1 TEL:0173-22-2111、FAX:0173-22-6007
りんご・ぶどう狩り		鶴田町	農家が丹誠込めて栽培した、りんごとスチューベンぶどう。おみやげにもいかがですか？ 【収穫時期:毎年9月上旬～10月下旬】	<ul style="list-style-type: none"> ■関連ウェブサイト 鶴田町ホームページ http://www.town.tsuruta.aomori.jp/ ◎お問い合わせ先 鶴田町役場産業観光課 青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字早瀬200-1 TEL:0173-22-2111、FAX:0173-22-6007

■主な半島資源

【体験・交流資源】

名称	写真	所在地	特徴	備考
津軽伝統 「金多豆蔵人形劇場」 (町無形民俗文化財)		中泊町	津軽伝統「金多豆蔵人形劇」は、酒呑みで失敗ばかりする「金多」と、おっちょこちよいだが情にもろい「豆蔵」が中心となって繰り広げられる、伝統の人形劇です。町の無形民俗文化財に指定されているこの劇は、伝統を守りながらも世相と風刺を取り入れる、懐の深い劇です。いつも笑いに満ちた2人の姿を劇場という非日常の空間でどうぞ。 劇場は、津軽中里駅内に併設されています。	<ul style="list-style-type: none"> ■交通アクセス 津軽鉄道津軽中里駅下車 ■関連ウェブサイト 青森県町村会ホームページ http://www.aomori-chousonkai.jp/index.html ◎お問い合わせ先 金多豆蔵人形一座 TEL: 0173-58-3573